

(8) 第31回 ソフトテニス日本実業団リーグ

1. 主 催 (公財)日本ソフトテニス連盟
2. 期 日 平成29年10月27日(金) 監督会議 午後4時～
開 会 式 午後4時40分～
10月28日(土) 受 付 午前8時30分～
競技開始 午前9時30分
10月29日(日) 競技開始 午前9時30分
3. 会 場 [監督会議・開会式]
ひろしま国際ホテル 3階
〒730-0032 広島市中区立町3-13 TEL 082-248-2323
※開会式は、監督のみの出席により、監督会議終了後に行う予定。
[競 技]
(1)男子 広島翔洋テニスコート(広島市中央庭球場) (人工クレーコート11面)
〒730-0011 広島市中区基町2-18 TEL 082-224-2191
(2)女子 ① 1日目 海田総合公園テニスコート(砂入り人工芝 6面)
〒736-0071 広島県安芸郡海田町東海田蟻ヶ原
TEL 082-824-2433
② 2日目 広島翔洋テニスコート(広島市中央庭球場)
4. 種 別 男子・女子団体戦
5. ル ー ル ソフトテニスハンドブックによる
(ダブルス・シングルスともに7ゲームマッチ)
6. 大会使用球 選択制(ケンコーボール・アカエム・スリクソン)
7. 練 習 平成29年10月27日(金) 午後1時～5時 無料
広島翔洋テニスコート (広島市中央庭球場)
※割当ては広島県連盟より連絡となるため大会申込時に必ずメールアドレスを報告すること。
8. 参 加 資 格
(1) 会社・銀行・官公庁等のチームであり、会員登録者は参加チームで会員登録をしていること。(ただし、選手を兼ねない監督はこの限りではない)
(2) 公認審判員制度の有資格者であること。(ただし選手を兼ねない部長はこの限りではない)

- (3) チームの編成単位は、同一支部に登録した1所属団体単位を原則とする。ただし、同一支部内の出資が50%以上の関連団体(子会社・外郭団体等)は出資団体の同一所属団体として認める。
- (4) 選手登録者は所属団体に常時勤務する者とする。(ただし選手を兼ねない監督はこの限りではない)
- (5) 年度内に所属団体を移動した時は、当該年度は出場できない。

9. チームの編成

- (1) 男子・女子ともに年齢制限はしない。
- (2) 1団体は1チームとする。(A・B等、1支部の1所属団体から2チームは出られない)
- (3) 1団体から男子チーム・女子チームが出場する場合、監督の兼任は出来ない。
- (4) 部長1名・監督1名・選手3名以上8名以内でチームを編成することとする。
部長・監督は選手登録をすれば選手を兼ねることができる。
- (5) 部長の変更は認めない。

10. 試合方法

- (1) 平成28年度本大会3～8位のチームに入替戦からの2チームを加えた8チームと、男子は10地区から選出された24チーム(関東地区4チーム、東海・東京地区は各3チーム、その他の地区は各2チーム)の計32チーム、女子は各地区から選出された16チーム(北海道・東北・中国・四国は各1チーム、その他の地区は各2チーム)の計24チームにより行う。
男子は数ブロックにより予選リーグを行う。各ブロックの1位による順位決定戦を行い、8位までを決定する。
女子は数ブロックにより予選リーグを行い、各ブロックの順位ごとに2次リーグはまたトーナメントによる順位決定戦を行い、8位までを決定する。
(雨天等により順位決定戦が出来ない場合は上位2チームを決定する試合のみ行う場合がある)
ただし、エントリーの結果参加チームに不足が生じたとき、あるいは大会運営に支障のあるときは、競技委員会の決定により推薦のチームを参加させ、もしくは試合方法を変更する場合がある。
- (2) 男子・女子ともにダブルス2ペア・シングルス1名による点取り対抗戦とする。
- (3) 対戦はダブルス・シングルス・ダブルスの順とする。ただし、1対戦中選手は重複して出場できない。
- (4) 対戦の都度オーダーを変えてもよい。

11. 参加料 1チーム 30,000円

※会員登録制度の未登録者が含まれる場合 1チーム45,000円

(ただし選手を兼ねない部長は含まない)

12. 申込方法

- (1) 大会申込システムにて各都道府県連盟より申し込むこと。
- (2) 大会プログラム掲載のため、社章(ロゴマーク)と会社またはチームのプロフィールを提出すること。
- (3) 申込期日 平成29年9月15日(金)

13. 宿泊申込 幹旋はしない(各自手配のこと)

14. 参加の条件

- (1) ユニフォームは、連盟が公認したメーカーの製品で、「ユニフォーム等の着用基準」(別表5)を遵守した製品を着用すること。
- (2) シューズは、連盟が公認したメーカーのテニスシューズを着用すること。
- (3) ラケットは、連盟の公認のマークを添付されたものを使用すること。
- (4) 所定時刻までに受付を完了し、開会式にはユニフォームを着用の上、必ず参加すること。
- (5) 前年度優勝チームは、優勝杯を整備し開会式において必ず返還すること。
- (6) ユニフォームは、チームとして同一のものを着用することが望ましい。
- (7) 入賞チームは、ユニフォームを着用の上、必ず閉会式に参加すること。
- (8) 会員登録証(登録会員)、公認審判員ワッペンおよびイエローカードを携行し、審判を担当するときはワッペンを左胸に着用すること。
- (9) 選手変更をする場合(別表2参照)、必ず変更届を日本連盟に提出すること。緊急の場合は会場に持参し、大会競技委員長の許可を得ること。
- (10) 参加者は、大会前に健康診断を受け大会期間中は健康管理に十分留意すること。また、健康保険証を持参すること。
- (11) 本連盟指定のゼッケンを着用し、必ず四隅を止めること。
- (12) 本大会に係わる映像等の広報についての活用と一切の権利については、本連盟に帰属し、承諾するものとする。

15. 特記事項

男子・女子とも本大会の上位2チームは、平成29年度日本リーグ下位2チームとの間で行われる日本リーグ入替戦への参加資格が与えられる。

16. アンチ・ドーピングについて

この大会は日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。ドーピング検査およびアンチ・ドーピング活動については、本冊子掲載の「ドーピング検査について」、「アンチ・ドーピングについて」、「ドーピング検査 Q&A」を熟読すること。